

ダ・ヴィンチで、もっと“身体にやさしい”手術を提供します

ダヴィンチ
da Vinci **Xi**
SURGICAL SYSTEM



当院では令和3年8月に、最新鋭の手術支援ロボット「**ダヴィンチXi**」を導入し、令和3年11月より前立腺がんの患者さんに対するロボット補助下前立腺全摘除術を開始しました。

「ダヴィンチ」は、低侵襲技術を用いて複雑な手術を可能とするために開発された手術支援ロボットで、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像の下、医師がロボットを遠隔操作して人間の動きを正確に再現することで手術を行います。

術者は鮮明な画像を見ながら、人の手首よりはるかに大きく曲がって回転する手首を供えた器具を使用し、精緻な手術を行うことができます。

対象となる症例は、現在のところ泌尿器科領域（前立腺がんと小さな腎臓がん）に限られますが、今後、診療科・対象症例を順次拡大していく予定です。

これまで松阪・紀勢・東紀州地域では前立腺がんにおけるロボット手術は、実施できる施設がありませんでしたが、当院の「ダヴィンチ」導入によって、この地域内でロボット手術を受けることが可能となります。

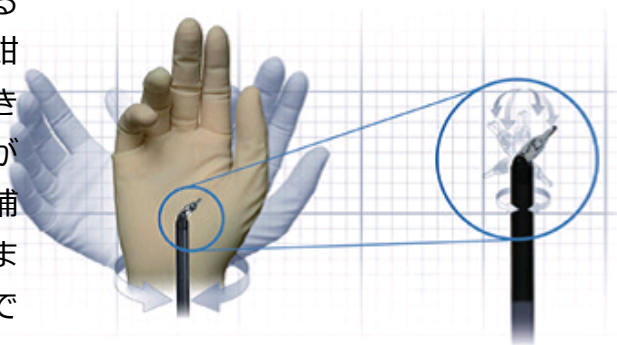
「ダヴィンチ」の特徴

1. 鮮明な3D画像

コンソールモニターには高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像が映し出されます。また、ズーム機能が搭載されており、最大約10倍の拡大視野でとらえることが可能です。術者はリアルな立体画像を見ながら手術を行うことができます。

2. 精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダヴィンチの鉗子はリスト構造を持ち、人間の手より大きな可動域があります。また、手先の震えが鉗子の先に伝わらないように、手ぶれを補正するフィルター機能が搭載されています。高い集中力を必要とする細かな作業でも、正確に操作することができます。



患者様のメリット

ダヴィンチ手術の特長としては、手ぶれがなく、精密な操作が可能で、その動きの自由度は人間の手以上のものがあります。

腹腔鏡手術と同様に切開部が小さく、傷跡や出血量も最小限に抑えられ、術後の早期回復、入院期間の短縮にも繋がるなど患者様の体への負担も少ない低侵襲手術が可能となり、開腹手術と比べ、さまざまなメリットがあります。



お問い合わせ先、今後の対象疾患の拡大等につきましては、
当院のホームページ、広報誌等で随時お知らせさせていただきます。